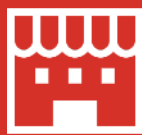


京都大学生協
甘党vs辛党～あまいのからいのどっちなんだい！～



[店舗]

取り組み概要

日時：投票期間 2023.11.27~12.1
再販期間 2024.1.29~2.3

場所：京都大学生協食堂全店

組合員の反応：投票ボードには、初日からたくさんのシールが貼られていた。

概要：京都大学生協学生委員会あらんじえによる企画。学生委員会考案の甘党・辛党料理を、京都大学生協全食堂にて販売した。投票期間において多く得点の集まった辛党の主菜「ヤンニョムチキン」は、再販期間にて復活販売された。

組合員の「美味しかった！」を、組合員に還元

POINT.1

学生委員会オリジナル企画！
一部食堂では限定メニューも

年に2回開催している、京都大学生協学生委員会あらんじえによる食堂企画。今回のテーマは「甘辛」でした。甘党、辛党、それぞれに当てはまるメニュー（主菜・小鉢・丼もの）を学生委員会にて考案しました。なお、主菜と小鉢は全食堂で共通のオリジナルメニューを提供していましたが、一部の丼ものにおいては、特定の食堂での限定メニューとなっていました。食堂数の多い京都大学生協だからこそ、組合員が複数食堂の利用を楽しめる工夫がなされていました。



POINT.2

あんなところにも！こんなところにも！
至るところで行われた情報宣伝

至るところで情報宣伝の作成物がみられた本企画。京都大学生協学生委員会あらんじえのSNS、カフェテリアルネ前の大階段前にて宣伝の広告が掲示されていたほか、食堂の電子掲示板や、京都大学生協学生委員会機関誌「らいふすてーじ」の裏表紙にも、大々的に広報が行われており、生協関係の掲示物のほとんどに企画の宣伝物が掲示されていました。組合員の目に入りやすい状態で、情報宣伝が行われていた点が素敵です。



POINT.3

組合員の「食べたい！」を可視化し、次の企画へ

企画を行う際、組合員への還元を意識しているのが京大流。企画のアンケートに回答すると抽選で生協電子マネー500円分のプレゼントを行っており、組合員がお得に大学生協を利用できるようになっていました。

さらに、本企画では、各食堂に投票ボードを設置し、全食堂において共通して販売されていた主菜の投票企画を行いました。多くの票が集まった「ヤンニョムチキン」（辛党）は、年明けの再販期間にて各食堂に登場しました。組合員の「美味しかった！」「食べたい！」を、投票ボードを経由して見える化し、次の企画に繋げることができていました。

